


2001年

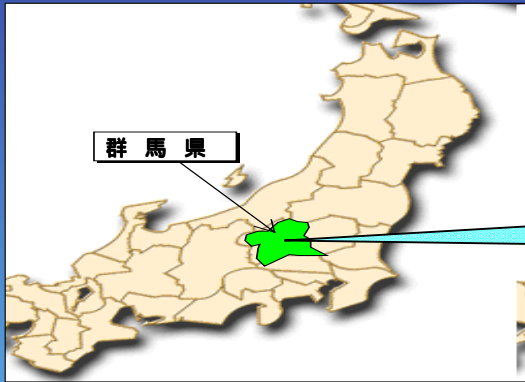
沖電気富岡地区環境レポート

- 1 . 富岡市の所在地
- 2 . 富岡市の紹介と富岡地区の概要
- 3 . 環境方針
- 4 . 環境保護推進体制
- 5 . 環境影響評価
- 6 . 活動実績 (1)
- 7 . 活動実績 (2)
- 8 . 活動実績 (3)
- 9 . 活動実績 (4)
- 10 . 環境負荷低減活動
- 11 . 環境教育体系

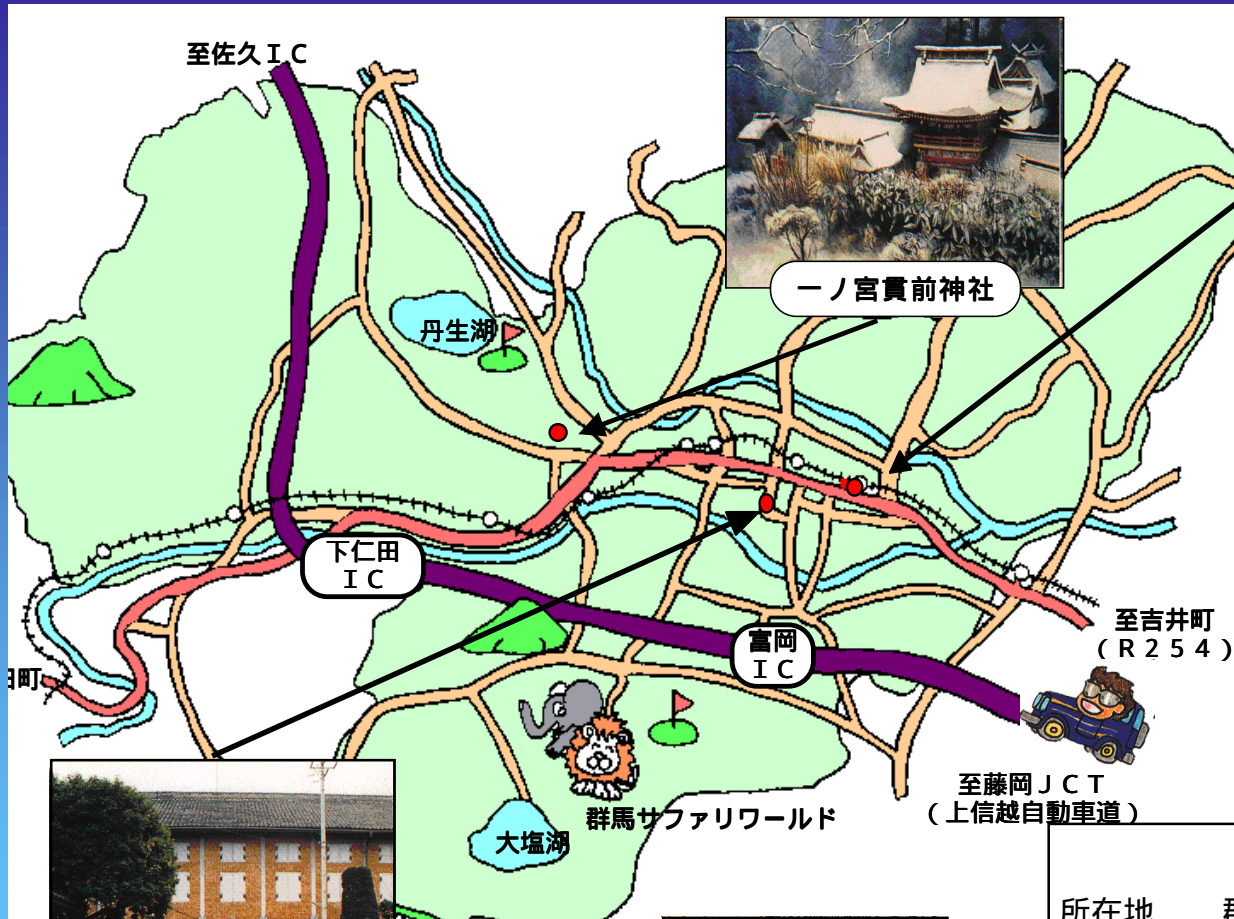


沖電気工業株式会社
システムソリューションカンパニー
高崎生産センター
富岡地区(富岡工場)

富岡市の所在地



富岡市の紹介と富岡地区の概要



一ノ宮貫前神社



富岡地区（富岡工場）



旧官営富岡製糸所



群馬サファリワールド



小幡藩城下町跡

至吉井町
(R254)

至藤岡JCT
(上信越自動車道)

富岡地区の概要

所在地	群馬県富岡市富岡 1256-1(〒370-2316)
工場設立	昭和35年(1960年)
従業員数	約831名(平成13年4月1日現在)
敷地面積	62,208m ² (平成13年3月現在)
建築面積	42,040m ² (平成13年3月現在)
用途地域	工業地域
事業内容	情報通信関連機器の製造

環境方針

環境理念

高崎生産センタ富岡地区（富岡工場）（以下富岡工場という）は、豊かな自然を次世代に残すため、地球環境に配慮した企業活動を行い、環境負荷の低減に努める。

また、妙義・荒船を擁した国定公園に隣接し、豊かな自然に恵まれた環境であることを認識し、環境管理活動により、地域社会に貢献する。

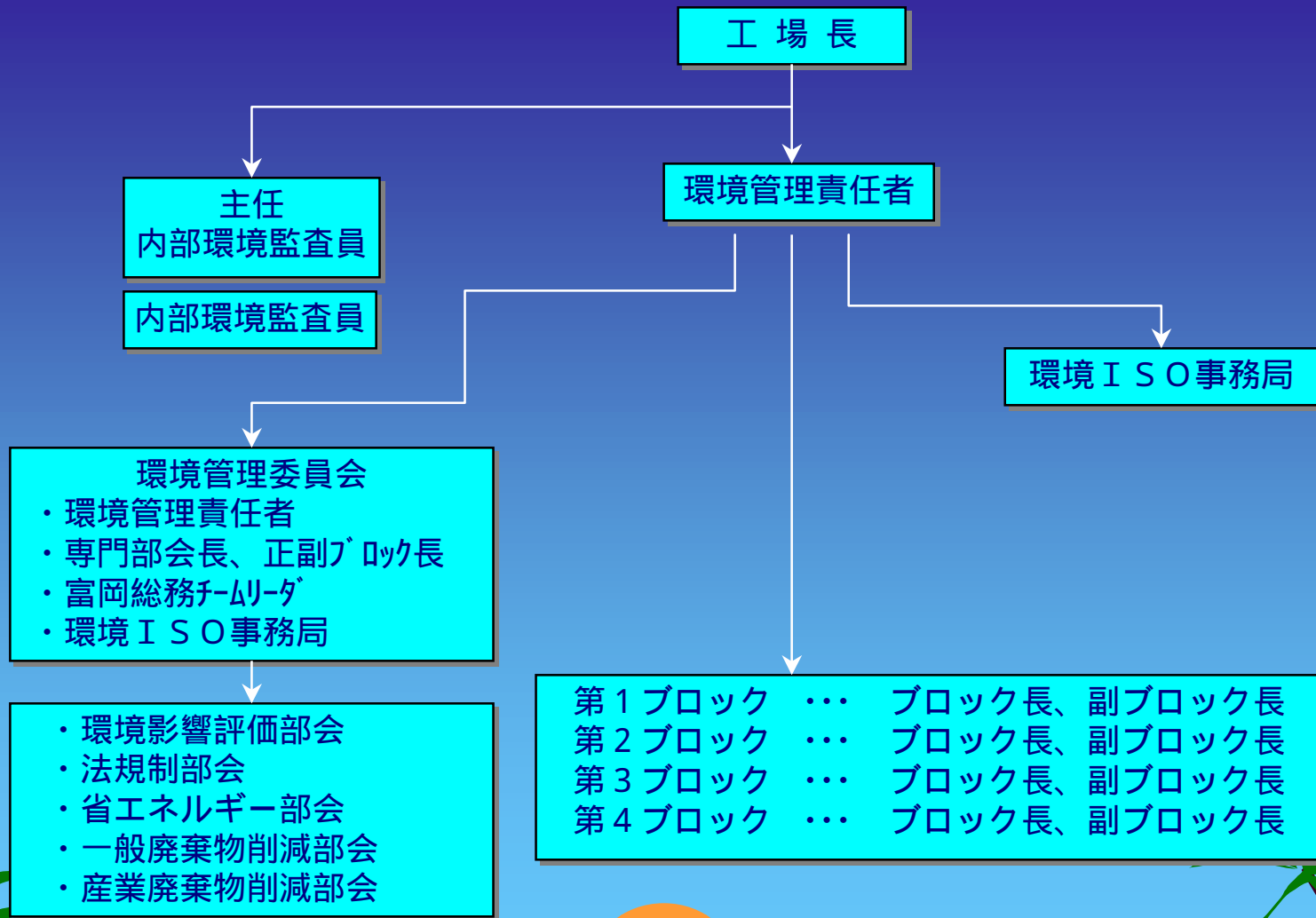
基本方針

富岡工場は、当工場敷地内の関連会社を含む全従業員が、以下の方針に基づき環境保全活動を積極的に展開する。

1. メカトロニクス製品の製造工場として、現金自動取引機/現金支払機、金融業界向け端末機等を製造しており地球規模での環境保全を最重要課題と考え次のことに取り組む
 - ・ エネルギー（重油、ガス、電力）の使用量を削減し炭酸ガスの排出量を抑制する。
 - ・ 一般及び産業廃棄物の再資源化率を高め、最終処分量を削減する。
 - ・ 有害な化学薬品の使用量削減に努めるとともに、緊急時の環境負荷低減を図る。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、P(計画)・D(実施)・C(点検)・A(見直し)を的確にまわす事により継続的改善及び汚染の予防に努める。
3. 環境関連の法律、規制、協定及び当地区が受入を決めた外部要求事項を遵守する。さらに 自主的な管理基準を設定し、環境負荷の低減に努める
4. 富岡工場及び各階層毎に環境目的及び目標、環境マネジメントプログラムを設定し実行する。その結果と変化する社会情勢等をもとに定期的なマネジメントレビュー - を行い環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
5. 富岡工場は、環境管理活動における費用及び効果を測定し、その結果を工場経営に反映する
6. 環境方針は、全従業員に周知徹底すると共に外部の要求に応じて誰にでも公開する。

2001年 4月19日
高崎生産センタ長
(富岡工場長)

環境保護推進体制

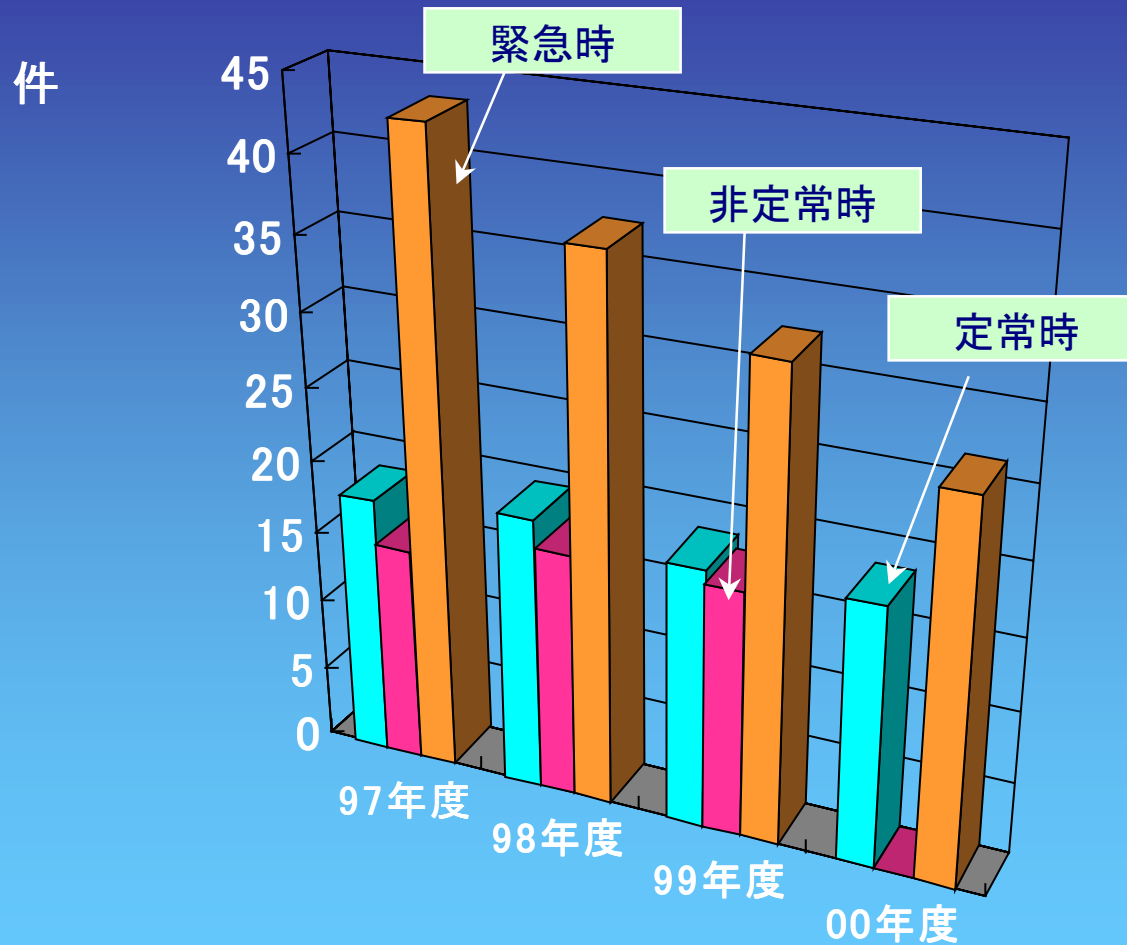


環境影響評価



活動実績 1 (環境影響評価結果)

緊急時に有意な側面は年々着実に件数が減っています。



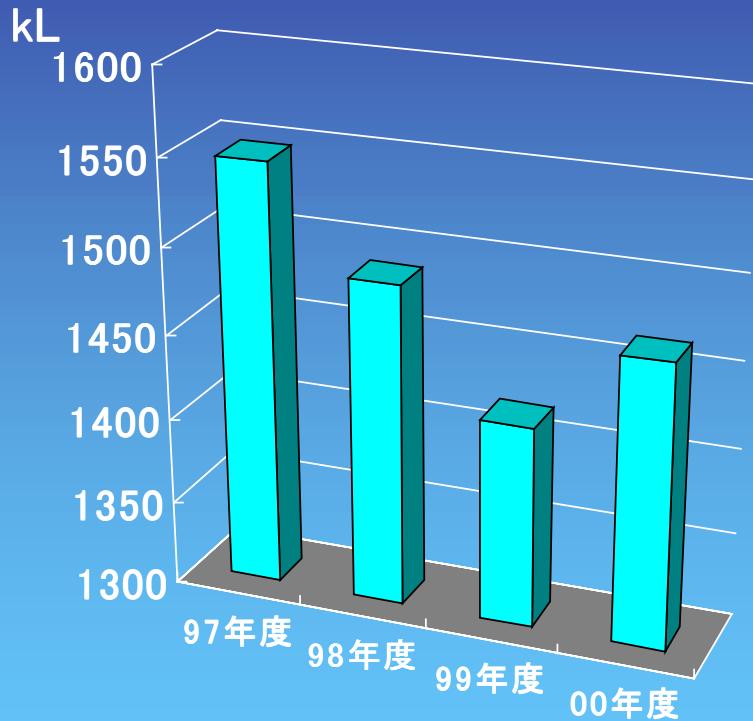
活動実績 2 (2000年度 環境測定結果)

各種法規制値に対して厳しい社内管理値を設定し管理しています。
全ての測定項目について社内管理値を満足しています。

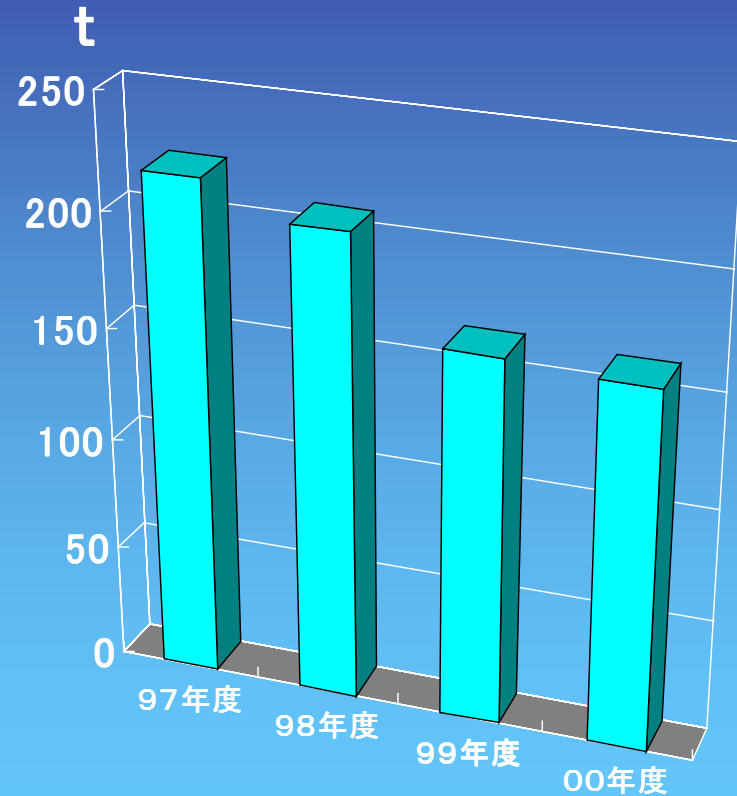
	測定項目	法規制値	社内管理値	測定値(平均)	測定値(最大)
排 水 の 水 質	PH	5.8～8.6	6.3～7.6	6.95	6.6～7.4
	BOD(mg/L)	25以下	14.3	7.38	13.00
	SS(mg/L)	50以下	19.8	2.17	16.00
	亜鉛(mg/L)	5以下	1.0	0.04	0.16
	銅(mg/L)	3以下	0.2	0.01	0.08
	フッ素(mg/L)	15以下	3.3	0.40	1.10
	全りん(mg/L)	16以下	6.6	2.89	4.00
	ニッケル(mg/L)	—	1.1	0.19	0.41
騒 音	昼(db)	70以下	66.5	58.83	64.0
	朝、夕(db)	65以下	61.8	52.50	59.0
	夜(db)	55以下	52.3	47.00	48.0

活動実績 3 (2000年度)

エネルギー使用実績
(エネルギー合計を重油換算)



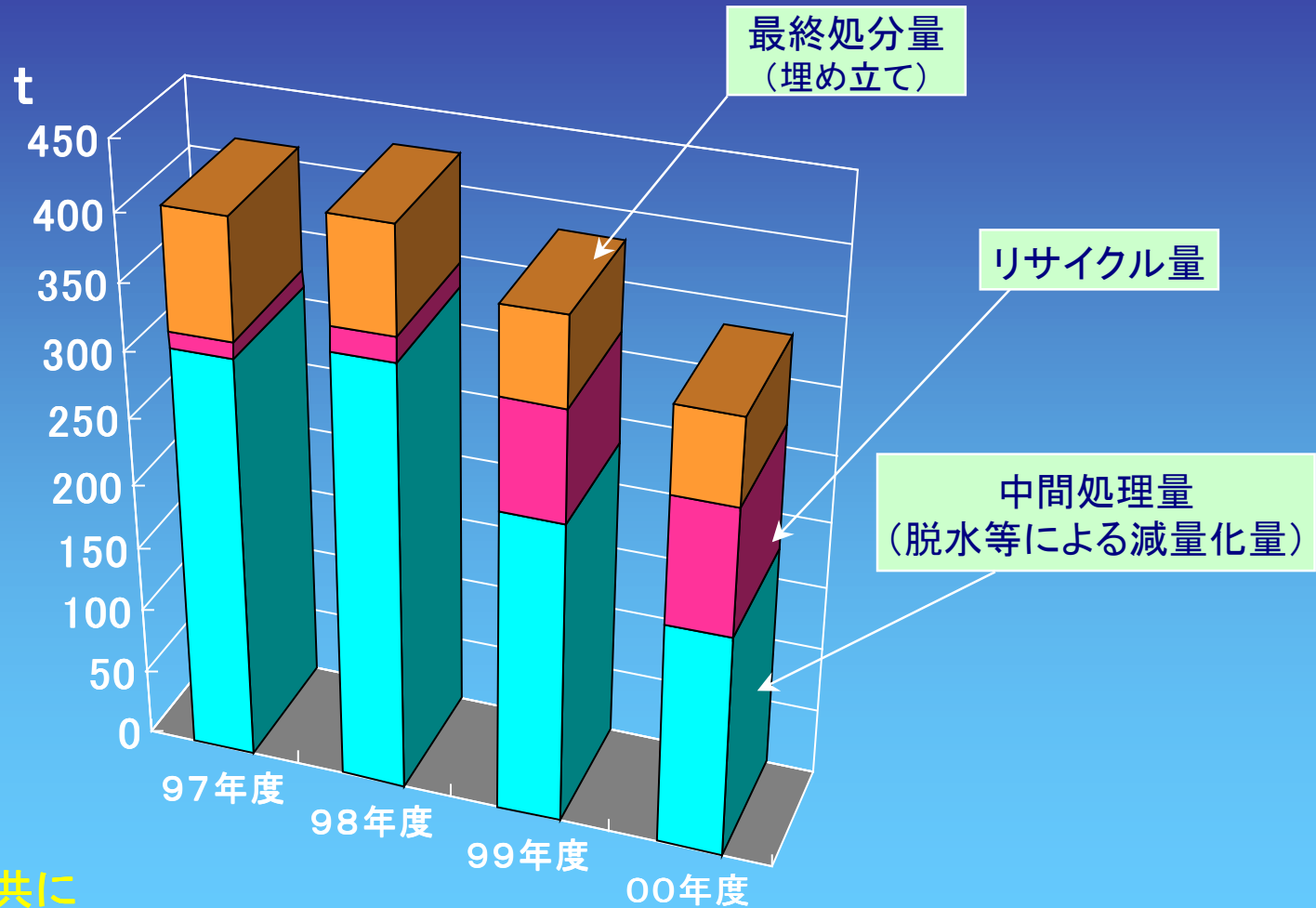
一般廃棄物削減実績



効果は現れていますが、今後は削減の頭打ちが予想されるため、「環境に良い側面」の活動(生産性UP、製品改善等)に転換していきます。

活動実績 4 (2000年度)

産業廃棄物削減実績



総量の削減と共に
リサイクル率の向上を図っていきます

環境負荷低減活動

当地区の廃プラスチックリサイクル事例を紹介します

廃プラスチックのリサイクル

熱回収【サーマル】

減容機で
発泡スチロールを減容化し
燃料にします

発泡スチロールから作られた燃料



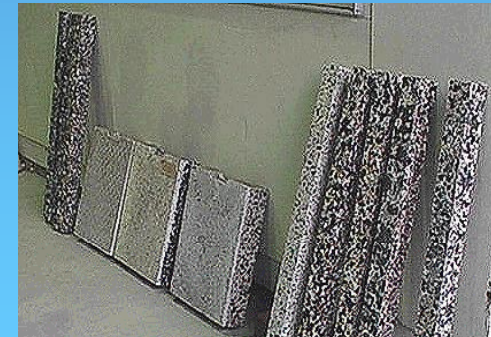
再利用【マテリアル】

成形廃材は
材料として
リサイクル
されます

成形廃材で作った箱



成形廃材で作った建材



環境教育体系

環境方針

目的・目標の活動

- ・省エネ
- ・紙くず削減
- ・リサイクル

一般教育

- ・第2標準による教育
- ・ブロック作成手順書による教育

法規制

法規制に関する作業

- ・廃水処理
- ・毒劇物管理
- ・塗装施設の管理

特別教育

- ・第2標準による教育
- ・認定教育(法規制関連作業者)

環境影響評価

緊急事態の可能性のある作業

- ・スクラバ作業
- ・メッキ作業
- ・PCB取扱作業
- ・塗料取扱作業

特別教育

- ・各ブロックの緊急事態対応手順書による教育
- ・実地訓練

特別教育

- ・内部監査員教育
- ・資格教育

